

質問順に掲載しています。
また、内容は紙面の都合で要約しています。

海岸環境整備事業と漁業振興



西 銃治 議員

問 海岸保全の面から伺う。これから台風シーズンに向けて、沖合いでの低気圧の発達によって、北東の風雨による時化が高潮となって集落を危険な状況へと脅かしている。どう把握しているか。

答 南相馬市全体整備箇所は5カ所あり、うち住宅が海岸に隣接している南鳥崎と角部内になる。要望箇所について

は、既存堤防補修・補強を優先し、高潮対策事業を県に要望する。

問 真野川漁港整備と堆砂除去について、最近港口付近は航路堆砂で漁船の出入港は困難をきわめ危険な状況にある。安全確保、災難防止を図るため航路浅瀬を浚渫する考えは。

答 ご指摘の通りであり、県に強力に要望する。

問 市民生活と雇用創出について、市内企業など経営は厳しい状況にあり、雇用創出企業経営の景気回復に至るまで経営の安定化を図るため市では、それぞれ企業に融資し企業安定と雇用維持への考えは。

答 議員が言っている趣旨をカバーリングしたいと思っ



真野川漁港

子どもを大切にする市に



渡部 寛一 議員

問 保育所に入れないでいる待機児等が約80人いる。子育て環境が益々悪化している中、希望する児が全て入所できるような即刻解決策をとるべきだ。

答 幼稚園は空いている。幼稚園との一体的運営等で、待機児解消をしていきたい。

問 遊休施設活用で施設の拡充を急ぐべきだ。不幸な子育て

をしなければならぬ実態を緊急の対応を求め。つきに、子どもの医療費無料化年令引き上げを求め。県内で中学卒業まで入院無料市町村が4割以上、通院では小学卒業と中学卒業までの市町村合計が3分の2に及んでいる。通院小学入学前まで、入院小6までと子育て環境の悪い南相馬市になってきている。中



元気いっぱいの子ども達

学校卒業まで医療費無料化を早く実現されたい。

答 現在小学校卒業までの通院医療費助成を検討している。中学校卒業までの無料化は、可能性を探っている。探りは早く終えるべきだ。環状一号线のような緊急性のない事業の休止や見直して、財源は生み出せる。

文化財整備事業について



横山 元榮 議員

問 県教育委員会が今年度から国庫補助事業の対象となっている国指定文化財の補修及び埋蔵文化財の発掘調査補助金を全廃する方針、本市の計画に対する影響を伺う。

答 適切な保存、活用を図るため国の補助があり、これに県の補助が上乗せされている。補助率は史跡の買い上げが補助対象経費の4%、史跡



浦尻貝塚

整備や発掘調査は10%、国指定文化財は9件、埋蔵文化財包蔵地は632遺跡、今後の事業計画立案や史跡保存整備事業の推進に影響が出てくると考える。

問 今年度の影響について伺う。

答 浦尻貝塚遺跡整備事業で200万円の補助を見込んでいたが事業費の削減と一般財源の補填により対応したい。全体事業の進捗状況に影響が出ると考えている。

問 浦尻貝塚史跡公園整備基本計画は、I期工事(22~25年)、II期工事(26~30年)平成30年度完成予定とあるが進捗状況に影響がないか伺う。

答 I期の中で約10%の工事が不足1年程度の遅れと予測、II期については具体的な小は考えていない。整備面積の縮

質問順に掲載しています。

また、内容は紙面の都合で要約しています。

福祉の原町は 帰ってくるのか



田中一正 議員

問 以前は福祉の原町ということで高齢者福祉の充実が図られたが、現状を考えると毎年後退しているように感じている。見解を伺う。

答 必要な分野に予算の効率化を計る配分をしている。高齢福祉の後退ではない。

問 老人福祉費等の減額は後退の印象が強いが見解を伺う。

答 一部の方に祝い金を支給



老人福祉センター（原町区）

するよりは高齢福祉全体の底上げをすると言う考えで包括支援センターに予算を回した。

問 障がい者の通所施設等への交通費負担軽減について伺う。

答 障がい者対象施設及び人工透析患者、重度障がい者に対し交通費を助成している。

問 以前は1級以外の障害者に対してタクシースターの支給があったと聞くがそのような

交通費助成は出来ないか伺う。

答 現在考えておりません。

問 たとえばタクシースターと片道2千円、往復4千円である。障害者手帳割引を適用しても1割引で3千600円かかる。これは大きな負担である。弱者に対して救いの手はさしのべられないのか伺う。

答 今後の公共交通機関等の中で考える必要があると思う。

つなげよう 愛するまち



太田淳一 議員

○地域医療について

問 昨年公表した病院非常事態宣言後の状況について伺う。

答 不足医師は県立医大等から応援を受けている。引き続き県、県立医大、東北大、東邦大等へ要望活動を実施していく。初診患者数は219人減、紹介患者数は151人増で、地域医療機関との役割分担とかがかりつけ医が促進されつつある

と捉えている。

問 若年層の女性特有がん検診の受診率向上を図るべきでは。

答 今年度から、受診啓発の講話、パンフレット配布など受診率向上に努めている。

○新市都市計画マスタープラン策定について

問 都市計画区域について、今後どのように見直していくのか伺う。



子どものために、がん検診受診を!!

答 県の区域マスタープラン変更計画とあわせ、特に常磐自動車道インターチェンジ周辺を含め見直す考えである。

問 中心市街地の一部が準工業地域となっていることから、用途地域の見直しをする考えがあるか伺う。

答 マスタープラン見直しとあわせ、変更することを基本的に検討を進める。

市内労働人口の 推移について



竹野光雄 議員

問 職業安定所における本所管内は、正規雇用のマイナスイメージ、入社しても、自宅待機や、給料減の企業が有り不安視の状況で有るが、市としての対応について伺う。

答 一部企業は、大変な状況に有り、企業の支援措置をしていく。また国の緊急経済対策に連動して、対策を打ち出し、行政としても、雇用者の

安定化を図る上からも、対応して行く。

問 労働者の人口推移は、市民生活に直結する部分であり、安心安全を標榜し、現在の状況を踏まえ、躊躇することのない政策が求められる。雇用確保の上からもどのような捉えているか伺う。

答 自動車、電気関係の製造業の操業率が落ちており、新

たな雇用については、全くおぼつかない状況であり、市としては、新たな雇用の可能性の分野である、農業、林業に対する仕組づくりや、来春の就職の厳しさに対し、相当程度の従来やっていた、若年者トライアル雇用のようなものを拡充して、対応していく必要があると、考えている。



ハローワーク原町